

# 「欧州のモビリティ政策から学ぶこと」

**日時：10月18日(火) 16:50-18:35 (5限)**

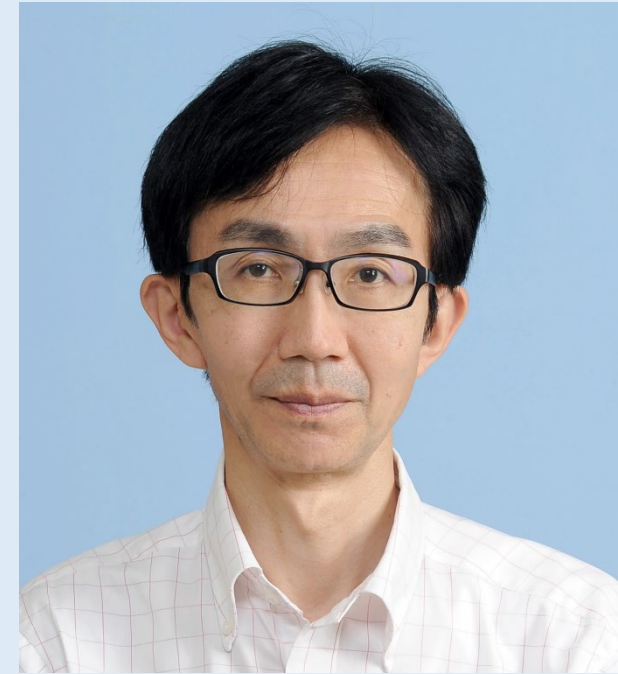
**場所：国際学術総合研究棟4階SMBCホール**  
(対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、関西大学経済学部 教授 宇都宮 浄人 氏 からお話を伺います。

日本では、地方都市圏を中心に、地域公共交通の運営に行き詰まりを見せています。これに対し、欧州では、1990年代ごろから持続可能性という観点を重視し、地域公共交通のサービス改善、新規投資が進められてきました。本講義では、オーストリアの実例も踏まえつつ、欧州がこの30年余り進めてきた政策を検討します。その結果、欧州では、QOLの向上という観点から将来のあるべき都市の姿を描き、持続可能な都市モビリティ計画(SUMP)を策定してきたこと、そして、そうした計画の下、地域公共交通を「公共サービス」と位置付け、まちづくりその他の政策と一体性を重視する統合的政策(integrated policy)を進めてきたことがわかります。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします(使用言語:日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。)

※資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手して下さい。  
授業開始の1時間前までを目途に掲示します。



関西大学  
経済学部 教授  
宇都宮 浄人 氏